

田原小だより



第690号

令和5年1月31日

台東区立田原小学校

校長 佐藤 貴生



親子で節分を考える！

副校長 地平憲司

早いもので、新年も1ヶ月が過ぎ、子供たちの生活・学習リズムも整ってきました。ただし、新年3ヶ月は、「行く・逃げる・去る」といわれているように、一気に時が流れていくものです。毎日が楽しく充実したものになるよう、リズムを守ってしっかり取り組んでいってほしいと思います。

1月下旬には、10年に一度といわれる「強烈寒波」の影響で都心も「-3℃」近くまで下がり、正に「凍京」の様相でした。1年で一番寒く、また、コロナだけでなく様々な感染症が流行する季節です。換気も大切ですが、手洗い、うがい、加湿などご家族全員、健康・体調管理にはくれぐれもご注意ください。

さて、2月3日は「節分」です。実は、節分は立春・立夏・立秋・立冬の前日を指すものなので、年に4回あることとなります。それが、江戸時代から立春前日が「節分」として習慣・行事化されたといわれています。節分の行事としては、「豆まき」をして無病息災を祈念したり、最近では「恵方巻き（節分の夜に、恵方“今年南南東”に向かって願い事を思い浮かべながら丸かじり“丸かぶり”し、言葉を発せずに最後まで食べると願い事がかなう）」を食べたりといったものがあります。昔ながらの「冬の風物詩」も子供たちにとって楽しい思い出になることと思います。ただ、ICT機器が氾濫し、情報化が日進月歩する現代社会では、そんな牧歌的な行事や意識だけでは不十分な気がしてなりません。

今日、子供たちがごく普通に所持している「ゲーム機・スマホ・タブレット等」には、無限にアクセスできる機能が備わっています。我が家の息子たちが興じているインターネット対戦型ゲームなどを横目で見ながら、その拡張度・自由度には驚くばかりです。自分の子供時代にもこんなゲームがあったら楽しかったらうなと感嘆しつつ、やはり親としては、その没入・没頭度に不安を感じることもあります。

便利な道具がトラブルと背中合わせであることは、みなさん十分ご承知のことと思います。また、スマホ等への依存は、本人の意志だけではなかなか克服できないことも報告されています。そこで、節分を機に、親子で約束事などを再確認してみたいと思います。「節分＝節度を分らせる日」を提案したいと思います。

まだまだ寒い日が続きますが、子供たちにとって「日々是好日」となるよう教職員一同頑張っておりますので、ご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。

風邪に負けない体力をつけよう！

生活指導部 高橋 浩之

2月の生活指導月目標は「寒さに負けない体を作ろう」です。今年度から持久走大会が再開します。先週から子供たちは、朝や休み時間、5分間走に取り組んでいます。体を動かすことで体力が高まると、病気にかかりにくくなり、かかっても治りやすくなります。コロナウィルス感染症対策の取り組みの声かけとともに、運動に進んで取り組ませていきたいと思っています。ご家庭でも持久走大会に向けて頑張る子供たちに励まし声かけをよろしく願いいたします。